

第20回日本コミュニケーション障害学会・学会発表奨励賞、 および2018年度研究助成金の贈呈式が行われました

去る5月13日(日)、第44回日本コミュニケーション障害学会学術講演会会場(北里大学)において、定期総会後、第43回学術講演会において発表された演題の中から今後の発展性が期待できる優れた演題として選考された第20回学会発表奨励賞の贈呈式が行われました(敬称略、所属は発表時のもの)。受賞者には、賞金として5万円が贈呈されました。

- ・石田 彩(愛知淑徳大学大学院心理医療科学研究科)、井脇貴子(愛知淑徳大学健康医療科学部)、高橋信雄(鷹の子病院愛媛人工内耳リハビリテーションセンター)

「人工内耳を装用する聴覚障がい青年の自己認識について」

- ・村田百子(上智大学大学院言語科学研究科)、原 恵子(上智大学大学院言語科学研究科)、都田青子(津田塾大学学芸学部)、荻野美佐子(上智大学大学院言語科学研究科)

「学齡児におけるかな文字表記の習得過程—特殊文字に焦点をあてて—」

また、2018年度日本コミュニケーション障害学会研究助成金(10万円)が贈呈されました(敬称略、所属は発表時のもの)。

- ・安崎文子(大和大学保健医療学部)

「吃音症例における聴覚伝導路の検討」

来年度の研究助成金公募については、『コミュニケーション障害学』Vol. 35, No. 2(2018年8月刊行)に掲載されています。研究活動に資金的援助を得る機会の少ない職域におられる方々の応募を特に期待しております。

日本コミュニケーション障害学会・研究推進委員会